

Chairman's Correspondence

多様な価値観？ダイバーシティ？

ご入学ご進学おめでとうございます。新入学児童は環境が変わり、毎日が新しい体験の連続で、驚きや不安を感じている事と思います。しかし大丈夫！毎年この時期、先生や優しい上級生が見守ってくれています。あつという間の5月の運動会では学校生活の一端を垣間見ていただけるようになります。

さて今の時代、人種、民族、性別、障害の有無から個人の嗜好まで、多様性を認めていこうという傾向にあります。

私は基本的には大賛成。人は、「人格」と「能力」のみが判断基準。それ以外の要素で判断され、差別や区別されるべきではないと思います。

では学校教育ではどうでしょう？それはちょっと異なります！多様な価値を認めるからといって、例えば、個人の嗜好を大事にして、ピアスやイヤリング、タトゥ(入れ墨)は OK？IT 通信はやりたいただけやらせる？ 私はそうではないと思います。

子どもたちに何でも OK にすれば、「楽な方へ楽な方へ…」、例えば甘いものを際限なく食べてしまう、ゲームやり放題？場合によっては(物事の良し悪しの判断が未熟で)いじめを際限なくやってしまうことになりかねません。

よって私は、子どもは年齢に応じて自己責任がとれる範囲で、「ルールや校則はきちんと守らせる。」とか、大げさに言えば法律で制限する。あるいは法律で守っていく必要があると思います。とにかく大人になれば自由なのですから、小学校レベルでは(特にベールでは?)細かいことまでうるさいです。逆にそれゆえに将来人生に役に立つ価値観や振る舞い、人望を身に付けることができるのだと思います。

昨秋、リリーベール寄席で女流落語家の真打「柳亭こみちさん」をお招きしました。小学生の二児の母親でもある「こみち師匠」ですが、いたくベールに感動されておられました。「こみち師匠」の母校での話です。「制服などは窮屈？もっと自由にすべきだ」と、生徒会も先生方も PTA も賛成して制服を無くしたそうですが、「こみち師匠」いわく、「その途端に学校は荒れました。」ということです。

最近全国では、小学校の卒業式で女兒の「袴スタイル」が増えてきていると TV によくとり上げられますが、私が古いのでしょうか？私は突然の自由化には反対です。着たくとも着られない子の課題を聞くと胸が苦しくなります。ベールの子どもたちには、たとえ袴が着られなくとも、そんなことでめげない子に育ててもらいたいと思います(最もうちは制服ですが…)。教育でルールを無くせば、とたんにこんな状況になりかねないのだと思います。

(結びに…水戸市内には多分茨城でも唯一？創立から制服のない公立中学校があります。水戸市立千波中学校です。それが誇りであり、しっかりとした理念を通してあるので着るものでのトラブルはないと聞きました。)

Chairman's Correspondence

2026年新しい年を始めましょう

ご入学ご進級おめでとうございます。さあ、新しい年をはじめましょう。
子どものころの感動・・・「わくわく・じわーっ・ときどき・やったー・不思議だな？」
と言うような感動は、子どもたちのやる気を高め、集中力と好奇心、探究心を育みます。

それが育つのはちょうどこの学童期が旬でこの時期を逃してはなりません。10歳までは
何でも素直に感動し受け入れる時期でもあります。

多くの「偉人と呼ばれる人」に共通しているのは、
好奇心溢れた豊かな少年少女期をおくったことです。

「育ちが良い」というのは、経済的に恵まれていたか否かではありません。
いつも自分の私利私欲だけを考えるのではなく周りの仲間の事も考えられる人を
「育ちが良い」「人望」があると言い、リーダーに共通する資質でこの時期に育まれます。

育脳学童ではできるだけ「異年齢でのコミュニケーションの場」という特性を活かして
育脳学童でしかできない活動を求め、育脳学童だからできる成長を求めて参ります。

人生では「うれしく・楽しい」ことばかりはありません。
「悲しい・辛い・さびしい・ひもじいなど」(大人はできるだけ、不合理な環境を排除して
いかねばなりません)それでも自分の責任がある場合、ない場合に関わらず、辛い場
面に遭遇することがあります。落ち込むこともあるでしょう。

しかし、小さな挫折の体験は、他人の気持ちを知るきっかけとなり、それを乗り越える経
験は、思いやりのある、人望のある子へと成長させてくれることも多いのです。

アメリカの大女優バーバラ・ストライザンドが、人生を振り返って言った言葉を思い出
します。

曰く「小さいときに苦勞した人は、その分だけ味わい深い大人になれるのよ。」

新入生は学童の生活に気後れし、嫌がることもありますが、先生方があたたかく受け入
れますので、どうか安心して送り出してください。

